

のびゆく中和っ子

かしこく なかよく 元気よく

～学び合い、高め合い、ふるさとと共に歩む中和っ子～

旭市立中和小学校 令和5年7月20日 NO. 7



明日に向かってチャレンジ 心のバリアフリー教育

本校児童は車椅子を利用する人に関わったり、間近で見たりする経験をほとんどもちません。障がいがある人はどんなことが困るのか、どんなことを望んでいるのか、障がいとは何か、これまで学ぶ機会はありませんでした。そこで、障がい者福祉への理解を深め、共生社会を学ぶ機会をもちたいという願いから千葉県教育委員会が推進する「心のバリアフリー教育」の行事である「あすチャレ! ジュニアアカデミー（日本財団パラスポーツサポートセンター主催）」に参加しました。現役パラアイスホッケー選手でバンクーバー2010冬季パラリンピックの銀メダリスト、そしてパラ・パワーリフティング選手でもある「馬島誠さん（まこっちゃん）」を講師に迎えてこの行事を行いました。まず、馬島さんの生い立ちや障がいの経緯、パラスポーツとの出会いを伺いました。明るく笑顔で話す講師の様子とは違い、その内容は壮絶なものでした。馬島講師は、学生のとときにアルバイト中の事故で電流が体に流れ、九死に一生を得て今があるそうです。馬島講師の話聞いて、「できない」を「できる」に変える工夫をたくさん教わりました。そして、遊びを通して「みんなが楽しめるルール」を工夫していくことの必要性、相手や仲間を大切にすることを学ぶことができました。まさに、共生社会への第一歩を踏み出す活動となりました。また、自分自身を見つめ「挑戦する」「顔晴る（がんばる）」「感謝する」「他喜力」の大切さや必要性を感じる素晴らしい体験学習となりました。これは、児童の感想の一部です。

馬島さんが新しい競技に挑戦していてすごいと思った。最初は全然できなかったけど、あきらめずに努力していかっこいいと思った。皆が公平に楽しめるのが一番いいと思った。大切な人を笑顔にするように願晴ることや人に感謝することが前向きに考えられて、夢がかなえられると知った。他喜力は自分のためになると知った。(6年男子)

あきらめないという気持ちがすごく伝わりました。あきらめずにしっかり努力していきたいと思いました。車いすや障害をもっている人はふつうの人とは少し違うけど、いろいろ工夫したらできることもいっぱいあることがわかりました。(5年女子)

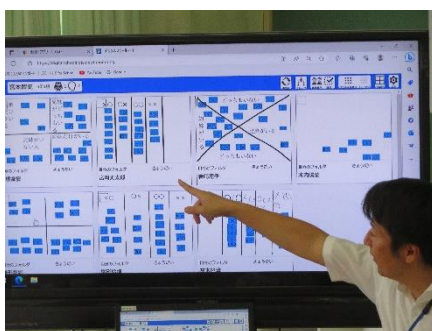


着衣水泳の実施

水泳の授業のラストは命を守る水泳「着衣水泳」でした。長袖、長ズボンの体操服のままプールに入り、水にぬれた衣服の重さや体の自由を奪う衣服のわずらわしさを体感しました。また、自分の命を守る道具の一つとして「レジ袋」に空気を入れて、それを使って体を浮かせる体験もしました。



4年生 タブレットを活用した算数の授業



タブレットが児童に一人1台ずつ配布され、それをどのように活用して授業に生かすのは教育現場での大きな課題です。その一つのヒントにつながる授業が本校で実践されました。今回は、旭市教育委員会と「デジタルスクールノート」を開発した会社の方々から、4年生の算数の授業を参観しました。

4年生は、画面上に示された課題から、ブルーのマークを指で移動させたり、並び替えたり、整理したシートを写真に撮り送ったり、まるで、鉛筆や消しゴムを普通に使用するようにタブレットを動かして学びを深めていました。写真中央にあるのは、一人一人が考えた整理の仕方を教師が大型テレビに映し出した画面です。全員が自分のやり方で資料を整理することができました。テレビ画面に表示したものをしながら、考え方、まとめ方の相違点を見つけ、学習を深めていました。素晴らしい授業が展開されました。



明日から夏休みです。安全に楽しく、健康にに！！

1学期は全部で70日（1年生は68日）、子どもたちは元気に学校に通いました。1年生を迎える会、遠足、校外学習、運動会、水泳学習などのたくさんの行事を重ね、たくましく成長してきている中和っ子。この間、交通事故にあうことも不審者やトラブルにあうことも無く無事に過ごすことができました。これも保護者の皆様、地域の皆様のご協力のお陰と感謝しております。ありがとうございました。

いよいよ明日からは夏休みです。休み中には、楽しい予定や計画がたくさんあるかと思いますが、規則正しい生活（早寝・早起き・朝ご飯）を基本に、安全で楽しく、健康な生活が送れるようにご協力をお願いします。夏休みならではの体験、活動を通して、また、一回り児童が成長できることを期待しています。